

新たな環境配慮型都市の開発に関する包括的研究

題目

ライフスタイルアセスメント手法の高度化とその応用に関する研究
～環境共生住宅へのLSA評価の適用～

著者

永田勝也、小野田弘士、村田寿見雄、溝田将吾

目的

- ・日常生活における環境負荷を容易に算出可能な、LSAソフトウェアの開発・高度化を目指す。
- ・実際の家庭にLSAを適用し、ライフスタイルの把握と行動改善提案を行う。

環境共生住宅の概要



施設概要

敷地面積	第I期 4,925m ²
構造規模	鉄筋コンクリート造、高層階14階1棟、低層階5階1棟
総戸数	第I期 79戸

環境省『街区まるごとCO₂ 20%削減事業』に採択

モニタリング住戸数	19戸
モニタリング方法	省エネナビ(毎時の消費電力を計測)の設置
アンケート調査	LSAソフトに対応したアンケート調査の実施

実行容易度の算出方法

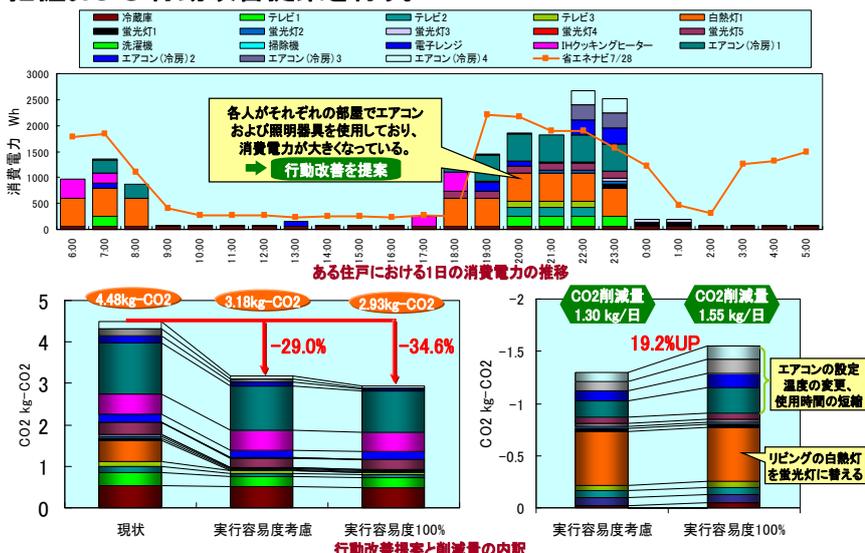
回答群	点数	実行容易度 %
現在行っている	3	100
環境問題のためなら実行し続けると思う	2	66.7
たまにはできると思う	1	33.3
実行することは難しいと思う	0	0

アンケート結果の傾向

- 従来データと同様の傾向を示した。
- 照明に関する行動の実行容易度が高く、自動車関連の行動は低い結果となった。

実際の家庭へのLSAソフトの適用

実際に環境共生住宅に住む家庭にLSAソフトを適用し、ライフスタイルの把握および行動改善提案を行う。



結論

- 1日のライフスタイルの変化を具体的に把握可能である。
- 各住戸のライフスタイルに対応した行動改善を提案することができた。
- 11住戸に対しLSAソフトを適用した結果、全体で15%のCO₂削減が可能であることがわかった。
- LSAソフトウェアの有効性が確認された。

ある住戸におけるLSA評価結果(夏期)

